

「東京真田町の会」会報

日本タボス

令和4年(2022年) **12月25日**



真田城跡より望む冠雪のふるさと

そこはこの写真で中央部上にある牧場の辺りだったような・・・、
すこし離れて沢みずもあったかな・・・
つぎの朝はおお～寒かったあ 夏だったのに・・・

(真田中学キャンプのおもいで)

NO.

35

写真提供：副会長深町共榮

[p. 7 で紹介] 挑む真田魂 2022 春夏！山家神社の祭り。左：5 月「出陣！お田植え」、右：9 月御柱前夜祭の仕掛花火



[p. 5 で紹介] 東京都練馬区石神井に信州上田アンテナショップ開設、開店 11:00~19:00、定休は火曜日

[p12 で紹介] 佐々木裕三さん 竹細工への思い(令 4 年 3 月 14 日放送、秋田県由利本荘市) <https://youtu.be/LIYe4HLLYjE?t=94>



(左、中央、及び右) 真田まつり (2022 年 8 月 6 日)



下表は p. 25 からの続きです。

東京真田町の会役員名簿

令和3年12月1日現在

職 名	氏 名
会 長	金 子 誠
副 会 長	深町 共榮
	柴田小夜子
理 事	監 事 荻原 啓治
	事務局長 深町 共榮
	会計理事 坂口 典和
	編 集 長 一之瀬和夫
顧 問	小林 孝雄 山口 元彦
	塩沢 和政 中島 正江



「東京真田町の会」のホームページを探す方法：キーワードには括弧「」内の文字で検索して下さい。
 検索にかからない場合は <http://fukamachi1129.ec-net.jp/sanadamachi/> をご使用ください。

もくじ

番号	表 題	頁
一	表紙	一
二	ふるさと点描(写真)、役員名簿	二
三	もくじ	三
四	あいさつ	四
五	地域の魅力をつなげ活力ある上田市を目指して	四
六	活気あふれる故郷を目指して	五
七	過去と未来をつなぐ持続可能な・・	六
八	また、元気で会いましょう！	六
九	百年先にも真田魂―新しい「祭り」に挑む―	七
一〇	親しまれるJA 信州うえだ農業協同組合	八
一一	東京真田町の会会報発刊に寄せて 信州うえだ農業協同組合	八
一二	ふるさとの明日を築く商工会	九
一三	ふるさと会統合にむけて	一〇
一四	第三十五回 総会および懇親会の報告	一〇
一五	(写真撮影、および「講演」みちのく真田ゆかりの地より、を含む)	一一
一六	各部の活動報告	一四
一七	第35回定期総会に参加して	一四
一八	三井芳郎さんのこと	一五
一九	三井さんとの思い出	一六
二〇	三井前顧問との思い出	一七
二一	旅に向って	一八
二二	山 追 憶	一八
二三	第三十八回真田まつりへ―唄いあるく太郎山さなだ―	二〇
二四	会員皆様の近況	二二
二五	令和3年度会務報告書・同決算報告書・	二五
二六	令和4年度事業計画・同収支予算	二六
二七	次回総会の予告・編集後記	二七
	第三十五回 総会および懇親会のもよう	二七

あいさつ

会長 金子 誠 (傍陽)



今年も余すところ僅かになってまいりましたが会員皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととご拝察申し上げます。

皆様には、昨年十二月の本誌三十四号にて、第三十五回総会・懇親会を五月十五日(日)に開催する予定、とお知らせしました。その後、第六波のコロナウイルス感染状況に鑑みて、この開催は無理であろうと判断し、十月三十日(日)へ延期させていただきました。

今後、本会の運営に関わる重大事項は郵便による表決をお願いすることになりますが、そのような折りには、皆様からの丁寧な返信ハガキを期待しております。

さて、コロナ感染防止の観点から2021年六月の理事会からオンライン(Zoom)で実施して今日に至っています(本誌三十四号四頁)。立ち上げの頃は接続や操作に手をや

いておりましたが、最近は慣れてきましたので会合回数も増え活発に活動しております。

会員皆様の高齢化が進んでおります。現在の、在籍は一三一名ですが年間十名ほどが退会されている現況でありますので、活性化には若会員入会が必須です。

会員の皆様には、故郷のお知り合いに声をかけていただくとともに、就職や結婚などで関東方面にお住まいの方に本会を紹介していただき、入会を勧めて下さるようお願いいたします。

また、当会の諸行事にも出席の声をかけをして頂き一緒に出席して頂ければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

さて、国内でのCOVID-19感染状況については十一月七日現在、一日あたり新規感染数は三万六八四人となっております。

(一)ワクチンの接種状況(デジタル庁十一月十六日現在)

一回目の接種者数は全人口の七七%で、このうち六五歳以上の接種率は七七、六七%です。

二回目の接種では全人口の七七、二%が、三回目の接種では全人口の六六、六三%が、四回目の接種では全人口の三五、九八%が受けています。

なお、ワクチン接種の間隔が三箇月に短縮されたことによって、

五回目は十月二十一日に始まっています。

(二)年齢層毎のワクチン接種率を次に示します(十月二三日現在)。

四〇代八四%、五〇代九一%、八〇代九六%、九〇代八七%、一〇〇代以上九三%。

〔原稿〕依頼2022年10月24日、入稿同年11月19日

地域の魅力をつなげ

活力ある上田市を

目指して

上田市長 土屋陽一



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスがまん延してから間もなく三年の月日が流れますが、この十一月には長野県全体の確保病床使用率が過去最高を上回る状況にあることから、長野県は、十一月十四日に全県に医療非常事態宣言を発出しました。

更に、今冬のインフルエンザとの同時流行による医療ひっ迫を回避し、社会経済活動を維持していくため「新型コロナウイルス第8波克服」県民共同宣言を十一月二十二日に発出いたしました。上田圏域におきましても、高い警戒感を要する状況にあり、一日当たりの新規陽性者数が第七波を大きく上回る状況となっております。年末年始を迎えるにあたり、社会経済活動と感染拡大防止の両立に向けて、一層の感染対策に、市を挙げて進めてまいります。

このような新型コロナウイルスや円安の影響が未だ続く中、物価高騰につきましても長期化が見込まれることから上田への人流の再開や経済の回復を見据え、市内三商工団体と連携した第五弾の消費喚起キャンペーンを令和五年二月に実施することとしました。

また、先日の総会時にもご紹介させていただきました、友好都市である東京都練馬区に上田市のアテナショップ『信州上田物産館「UEDA Nerima BAS E(ウエダネリマベース)」』が、十月三十日にオープンいたしました。初日は三百人を超えるお客様に御来場いただき、大変喜ばしいスタートを切ることができました。今後は、運営を軌道に乗せることに注力し、徐々に出品事業者に

よる販売促進イベントなども実施しながら、市内産品の販路拡大につなげるとともに、この施設を起点に市民と都市住民との顔の見える関係を築き、将来的には、都会の方が週末等を上田市で過ごす地域居住や移住、観光誘客、文化やスポーツ交流等にも発展していくよう、出品事業者、経済団体及び市内関係部局が連携して取り組んでまいります(★関連記事を²p.に掲載)。

最後に、真田地域の大日向地区において、県により進められてきた国道144号湯ノ平橋の整備を含む約440mのバイパス区間が12月16日に開通しました。地域の安心・安全と、観光や地域間交通の活性化につながることを期待されます。地域の皆様や地権者を始め、多くの関係者の方の御協力に、この場を借りて御礼申し上げます。

今後もし引き続き、コロナ禍で疲弊した地域経済の再生を図るため、市民の皆様と心をひとつにし、各種施策に全力で取り組んでまいります。また、東京真田町の会の皆様におかれましても、今後のアンテナショップなどを通じて、ぜひ皆様には、ふるさと上田市を温かく見守っていただき、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会のますの御発展と金子会長はじめ会

員の皆様の御多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつと致します。

【原稿】依頼 2022年10月15日、入稿同年12月15日

活気あふれる

故郷を目指して

上田市議会議員 佐藤論征



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より故郷にお寄せいただいておりますご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響によりまして三年ぶりの開催となりました総会にお招きいただき、例年通りの開催とまではならなかったものの故郷へいつまでも想いを寄せてくださる皆様と楽しい時間を過ごさせて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

令和四年四月から議長を拝命いたしました。総会の際には、地域の大先輩である皆様から沢山のお祝いの言葉を頂戴いたしましたこと重ねて心より感謝申し上げます。さて、長引く新型コロナウイルス

感染症の影響により、ここ2年間は、真田地域恒例の「真田まつり」をはじめ、多くのイベントが中止となっておりまして。また、スポーツ合宿の聖地として知られる菅平高原では利用団体も激減し、令和元年度と比較し9割減と壊滅的な状況が続いており、東京真田町の会の皆様にも、大変ご心配をいただいたところでございます。

ようやく今年度に入ってから、「上田城千本桜まつり」を皮切りに、「信州上田大花火大会」、「上田わっしょい」、また「真田まつり」を含む各種夏まつりなど、ほとんどのイベントを開催することができ、多くの市民の皆様が活気と元気をとどけることができております。

更に、菅平高原の利用客につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった令和元年度までには戻っておりませんが、7割程度までには戻ってきた状況でございます。

本格的な冬のスキーシーズンを向かえるのにあたり、昨シーズン以上に多くのスキー客や団体が菅

平高原を訪れてくだされば、菅平高原に活気が戻り、厳しい状況であつた多くの事業者の皆さんにも笑顔が戻り、如いては地域全体の活気に繋がるものと期待しているところでございます。

東京真田町の会の皆様におかれましても、これまでは故郷への帰郷もままならぬ状況であつたものと拝察いたしますが、ウィズコロナ時代へ移り変わるなか、感染対策を講じていただながら故郷へご帰郷いただければ、故郷の更なる活気に繋がるものであります。故郷で皆様とお会いできますこと心待ちにしております。



結びに、東京真田町の会の益々のご発展と会員の皆様の益々の健勝をお祈り申し上げ、第三十五号

「日本ダボス」発行にあたりご挨拶とさせていただきます。

【原稿】依頼 2022年10月15日、入稿同年11月11日

過去と未来をつなぐ

持続可能な地域を

目指して

真田地域自治センター長

田中 昌彦



東京真田町の会の皆様には、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、三十年以上の長きにわたり、会の運営、発展のためご尽力賜りました役員の皆様並びに会員の皆様に、改めまして敬意を表するとともに、深く感謝申し上げる次第でございます。

はじめに、このコロナ禍についてですが、この夏は数年ぶりの移動制限のない夏ということもあり、3年ぶりとなる真田まつりの開催

に金子会長にもお越しいただきまして改めて御礼申し上げます。また、こちらも4年ぶりとなる真田地域一周駅伝大会の開催など、久しぶりに地域の皆さんの明るい笑顔を見ることができました。

これまで地域の行事が脈々と継続されてきましたが、地域の皆さんが集まり、笑顔で交流するということの貴重さ、大切さがあたりまえではなく、本当に多くの人の手で守られてきたということを改めて強く感じました。日常にある地域らしさというものは、このような絶え間ない、人の繋がりによりバトンが渡され、いま私たちが受け取っているものだと感じています。

また今回、真田地域で半世紀以上地域コミュニケーション手段として愛されてきた有線放送電話事業が、利用者の減少や機器の老朽化から令和5年3月末をもって廃止になります。会員の方にも思い出に残っている方もいらっしゃるかもしれません。機器等については時代の推移と共に消えていくものは仕方ないことかもしれませんが、地域の人々が作り上げてきた、温かさやこの真田地域らしさを後世に伝えていくために、温故知新の精神を大切にし、将来につなげる地域コミュニティの再構築を図っていく政策を、進めていきたい

と考えています。

最後に、令和元年東日本台風では真田地域に大きな被害が及び、東京真田町の会の皆様からの温かい支援をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。真田地域の災害復旧については、つくしから四日市にかけての神川の護岸工事の一部の県事業については残っておりますが、概ね復旧が済みしました。引き続き地域の皆様が安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりをハード・ソフト面で進めてまいります。

会員の皆様には現況を御理解いただき、引き続きふるさとのおまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

【原稿】依頼 2022年10月15日、入稿同年12月15日

また、元気で

お会いしましょう！

上田市議員 古市 順子

10月30日に行われた東京真田町の会総会・懇親会の折は、大変お世話になりました。コロナ禍で3

年ぶりの開催で、久しぶりにお会いした方も多く、懐かしい思いで、楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。同時にお見えになれない方も多いようで、少し寂しく感じました。



コロナ感染は、また増えはじめて8波とのことで、インフルエンザ感染との同時流行も懸念されています。行動制限も検討されているようですが、各々が感染予防に心がけていきましょう。

台風19号の災害発生から丸3年が経ちます。その折には、会員の皆さんから暖かいご芳志を頂き、改めて感謝申し上げます。四日市団地が隣接する神川の工事は未だに行われています。以前の説明と違うようで、地元の方から疑問の声も出されています。なかなかの難工事のようですが、住民の安全第一に進めてほしいものです。

コロナ禍以前は、様々な学校や保育園行事にお招きいただいていましたが、ほとんどなくなってい

まいりました。先日、真田中学校から「真田中生を語る会」のご案内があり、久しぶりに訪れました。子どもたちの授業の様子や、絵や習字、トートバッグや、刺繍の作品、また体験学習の報告など展示物も見学させていただきました。体験学習は2年生が真田地域の農業(米、リンゴ、野菜、キノコ)をそれぞれ体験したようです。地域の方に指導者になっていただき、コメは新そば祭りで販売されましたし、リンゴは給食に提供されたそうです。

今、食育の重要性が言われていますが、真田中学校では30年も前から取り組んでおり、給食にはこういった地元の食材が多く使われています。全校でお弁当を作る日もあります。真田地域は全小中学校で自校給食ですが、上田市全体では少数です。自校給食を守っていくことが必要だと改めて思いました。また、絵の展示では3年生が真田地域の風景をそれぞれの視点で描いており、故郷を大切にしている思いが伝わってきました。

子どもたちはいつでも社会の宝、皆の希望ですね。真田地域でも少子化が進んでいます。豊かな自然環境、地域住民の温かな見守りの中で、のびのびと成長しています。会員の皆様も、ご自分の子ども時代をなつかしく思い出されることあるうかと思えます。

向寒の折、ご自愛ください
ように・・・

東京真田町の会のあり方も検討されているとお聞きしていますが、またお会いできる日を楽しみにしております。(11/11)

【原稿】依頼 2022年10月15日、入稿同年12月01日

百年先にも真田魂

―新しい「祭り」に挑む

山家神社―

上田市議会議員 齊藤加代美

(旧姓 倉島・本原出身)



先日、三年ぶりの「東京真田町の会」では、皆さまのお元気なお姿、楽しい対話ができ、嬉しさいっぱいの会にお招きいただき感謝いたします。

三年前の東日本台風災害から、コロナ禍、そしてウクライナ侵攻、物価高騰と、不安な未来を今歩まざるをえない現実を前に、「不安な未来を待つのではなく、望む未来

を迎えにいく」さらに「私たちが受け継いだ真田魂(さなだたましい)を未来に送り届ける」を目指して、新しい「祭り」の形、自分たちが関わる祭りを創るプロジェクトがはじまったのです。これには宮司の押森さんが仕掛人となり、真田町長の山家神社を舞台に、真田魂のメンバーで熱く遂行されています。



齊藤も早乙女すがたで、令和4年5月29日
<https://camp-fire.jp/projects/view/313309>



御柱祭、令和4年9月18日

なんてったって、驚きは、初の「御柱祭(おんばしらさい)」を―子供たちの思い出に残る故郷を作りたい―と立ち上がった地元30〜40歳代の住人主導で作りに上げてしまったのだから・・・これはすごい!

このプロジェクトの端緒は真田の仕掛け花火を復活したいの思いからクラウドファンディングをはじめたことによります。その三年目にあたる今年、目標300人を達成して325人の支援により総額147,000円の資金が集まりました。この威力をえて山家神社では9月17日(土)に前夜祭の仕掛け花火、六文銭、真田魂、ナイアガラ、およびカンガワを披露し、18日(日)には、同やしろで初めての御柱曳行とその建立を成しました。私ももちろん、このプロジェクトに賛同させていただきました(★) (★) 関連記事はp.2に掲載。

そして、今年は、スペシャルなご縁をいただきました。またまた復興した祭事のお田植まつりで、私は初の早乙女の衣装をまとい、田植への奉納をさせていただきました。まず、拝殿で厳かな神事が執り行われ玉串奉奠、そして、斎庭でかわいらしい子供たちの田舞奉納があり、境内を抜け、すぐ近くの田んぼへと向かったのです。裸足になつて泥に入った瞬間、とても懐か

しい感覚を覚えました。手植えは幼いころ本原でいつも手伝っていたので、見守ってくれていた総代の皆さんに、「上手だね〜」って褒められ、思わず本気モード。次の日は腰にきましたよ…。楽しいくありがたい体験でした。

そして、これもまた全国アリオ店で初の試みとして、上田のアリオ店に山家神社(真田神社)を分祀し、新たに四阿流尾(ありお)神社を設営しています。参拝が難しい方も市内からお参りができる仕組み、なんてユニークなアイデアでしょう。

ここで、私と山家神社の縁を披露します。押森家との繋がりは、押森慎宮司のご両親でした。お母さまは、私の真田中学校時代のテニス部の顧問。「かよみ〜」っと、いつも気合を入れた鬼コーチ、部長であった私の根性を作り上げていただきました。他界されてしまったお父様は、私の二十代、真田でイベントグループ「トナカイ」を結成し、クリスマスイベントを手掛けたまちづくりの仕掛人。さらに、慎宮司の奥様は実家の上の姪っ子の同級生なのです。

ご両親から受け継がれた真田魂の継承と令和の時代にもつづく真田一族を、未来に伝えていくプロジェクトにどうぞご期待ください。
〔原稿〕依頼 2022 年 10 月 15 日、入稿

同年 12 月 2 日

親しまれる JA

信州うえだ農業協同組合
代表理事組合長 眞島 実



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、信州うえだ農業協同組合の事業運営・地域貢献活動にご理解とご協力を賜るとともに、信州うえだの農畜産物をご愛顧いただき心より御礼申し上げます。

さて、本年の農業情勢につきましては、いまだに新型コロナウイルス感染症の影響による農畜産物の需要減退が続く、農畜産物価格が低迷するとともに、国際情勢の不安・円安等による生産資材・燃料・飼料等の相次ぐ高騰で、農家経営に大きな影響を受けております。農業経営者が将来に亘り、安心して農業を営める環境が必要とされるなか、JAとして国・県・市町村への協力要請も行い、持続可能な

農業振興につなげる取り組みを進めております。

上田地域の農作物の情勢ですが、春先に一部の地域において凍霜害、降雹被害が発生しましたが、全般的には穏やかな天候に恵まれ、農家の皆様のご尽力により、豊かな収穫の秋を迎えることができました。

7月5日には、土屋陽一上田市長と共に東京都大田市場に出向き、全国に誇れる菅平高原レタスのトップセールスを行ってまいりました。コロナ禍で農畜産物の需要が減退するなか、地元真田町の生産者が丹精込めて生産した農産物の魅力を首都圏へ発信し、消費拡大を広めることで、農業所得の増大と地域の活性化につながる取り組みを行っております。

また、3年ぶりとなる第28回JAフェスティバルを「食と農で地域に笑顔の輪を広げよう」のテーマのもと、全7地区で開催いたしました。

真田地区は10月22日、農産物直売所新鮮市真田一帯を会場として、リンゴの直売やハクサイ、キャベツ、ダイコン、ゴボウなど地元産の新鮮な旬の野菜を販売し、地域の大勢の皆様にお出掛けいただき、好評をいただきました。

これからも地域に根ざしたJAとして、組合員をはじめ地域の皆

《広告欄》

(有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25t/10t/7t/5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・

庭園(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子 (大日向出身田姓一之瀬)



東京真田町の会

北本市都道府県人連合会

長野県人会

会長 金子 誠

(田中出身)

〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156

☎048-591-4728

様が、安心して暮らせる豊かな地域社会を築くため、様々なニーズに応えながら、皆様に親しまれるJAとなるよう、役職員一丸となってJA事業に取り組んでまいります。

今後ともご支援・ご協力を賜れば幸いに存じます。

結びに貴会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、本会報「日本ダボス」に寄せるごあいさつとさせていただきます。

【原稿】依頼 2022 年 10 月 15 日、入稿 11 月 10 日

東京真田町の会

会報発刊に寄せて

信州うえだ農業協同組合

真田地区理事 北島一博



会の皆様 10 月 30 日の総会の際には大変お世話になりました。

ございました。コロナ7波と8波の狭間に親しくお話が出来ましたこと大変にうれしく思いました、皆様から昔のお話、東京に出てこられてからの苦労話を聞かせて頂いたりしました「岩城まち歩き案内の会」佐々木様の講演を拝聴させて頂いていただくなど、大変貴重な経験をさせていただきましたこと、そして会報に寄稿させていただくチャンス戴きましたことに感謝申し上げます。

さて今年は紅葉のきれいな年になりました。

菅平は赤い桜・カエデが散つて山々はカラ松が黄色を通り越して赤味を増してきました。

ふる里「真田」に降りてきますと紅葉が真っ盛りできれいなグラデーションです。

特に先日の強い寒気のせいか唐松の上部が黄色く縁取られて下側の緑と対比を成して、とてもきれいな唐松林になりました。

10月23日には真田のグリーンファーム跡地・新鮮市一帯におきましてJA祭が行われました。今までコロナの影響でイベントらしい事が少なかったせいででしょうか千人を超える人出で大盛況でした。また市のご努力のおかげで国道144号線 大日向下発電所前の橋の架け替え工事・上野伊勢山の国道付け替え工事も完成が見えてきました。

ました。

少しづつでは有りますが着実に前進している真田町です

最近JA信州うえだ産の「菅平高原レタス」や「真田町のリンゴ」が美味しいと評判です。調べてみたらレタスは沖縄の人々からの口コミによる評判が九州の市場に届き、それが全国に広がってきているとのこと、リンゴは若い農家の努力と温暖化のためではないかと言われています。総てではありませんが。

これからも「真田町の農産物」を見たとき「ちよつと嬉しくなったり・・」「これ美味しいんだ。みんなも食べてみて・・」って言えるような、愛着を持ってもらえる「野菜・果物・花卉・きのこ達」を作っていきたいと思っています。またそれを応援していくのが、私たち「JA信州うえだ」の役目だと考えています。

「真田町の農産物」を見たらそんなことも、ちよつと思ひ出して下さい。

11月26日にはリンゴ祭りが行われます。コロナを乗り越えて発展していくふる里、真田町に是非お出かけ下さい。これから近所みなで協力し合って盛り立てていきますので皆さんの応援をよろしくお願い致します。とりとめも無い話になってしま

《広告欄》

東京真田町の会

顧問 **小林 孝雄**
(曲尾出身)

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5
☎ 045-349-2084

東京真田町の会

副会長 **深 町 共 榮**
(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7
☎ 090-7225-6491

いきましたが、また皆様にお目にか
かれる日を楽しみにしております。
最後になりましたが東京真田町
の会のご発展と皆様のご健勝ご多
幸をお祈り申し上げます。

ありがとうございます。

令和4年11月10日

「原稿」依頼 2022年10月15日、入稿
同年11月14日

ふるさと

明日を築く商工会

真田町商工会

会長 木島 徳行



このたびは日本ダボス第35号
発行に寄稿させていただき誠にあ
りがとうございます。

真田町商工会は「商工会の組織
等に関する法律」の施行により昭
和35年9月に設立発足いたしま
した。以来60年間、今まで組織
と事業の拡充強化に努め現在会員
250名余りを有しております。
このことは行政をはじめ関係各位

の深いご理解とご支援によるもの
であり、東京真田町の会の皆様にも
感謝の意を表する次第です。

商工会は地域の小規模事業者を
中心に組織されており、主に「事業
者の経営改善普及事業」や「地域の
振興事業」を行っている経済団体
であります。コロナ禍の影響に
よる経済の低迷に加え海外情勢の
変化、為替相場等により厳しい状
況が続いており、又、後継者不足も
重なり会員数は減少傾向にありま
す。特に中小・小規模企業におい
ては、地域業種を問わず、かつてない
経済状況が続いている中、観光業
の菅平高原を抱えている当商工会
地域では繰り返しされるコロナの影
響により、事業継続に限界を来し
ている事業所も少なくありません。
しかし、こうした中だからこそ、
この状況を商工会の必要性を感じ
てもらえる契機ととらえ、国県市
の行政機関や関係機関と連携し、
存在意義を再認識していただき、
取り巻く課題解決を第一に支援体
制を強化しているところでありま
す。又、今年度は久方ぶりに地域の
夏まつりである「真田まつり」を開
催することができ、徐々にではあ
りますが地域経済に回復の兆しが
見えてきたと考えています。

東京真田町の会の皆様におかれま
しては、引き続きご指導ご鞭撻を
頂きながら本会の事業推進にご理

解ご協力をいただきますようよろ
しくお願いいたします。

おわりになります。貴会の益々
の御発展と会員の皆様の御健勝と
御多幸をお祈り申し上げます。ごあい
さつとさせていただきます。

「原稿」依頼 2022年10月15日、入稿
11月2日

ふるさと

統合にむけて

事務局 深町共榮 (傍陽)

丸子町、真田町、武石村が、旧上
田市に合併して現在の上田市とな
り、今年で16年となります。合併
当時の新上田市は、東京のふるさと
会である、上田、丸子、真田、武
石の各会についても、統合を促進
すべきか検討することになってい
ました。昨年になり、はじめて統合
に関するアンケート調査を上田市
が行いました。その結果、上田会、
真田町の会は、ふるさと会統合に
前向きである旨を示し、今年の6
月、両会の代表者が集まり、第一回
目の会合をもち、統合に向けて、意
見の集約を始めました。丸子会に
つきましては、この秋、解散となり
ました。上田会、真田町の会ともに
会員の高齢化が進み、会員数が減

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉長島 出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-7 MSビル 6F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com

少し、役員補充が難しくなっています。ふるさと会統合に向けてのこの機会に、この問題解決の糸口をさぐり、ふるさと会活動の活性化を図りたいものと存じます。現在、統合案を検討中ですが、令和5年5月の総会の折には、その内容が紹介できればと思っております。皆様から、良いお考えがございましたら、事務局へ電話でも結構ですので、お知らせください。

【原稿】依頼 2022 年 10 月 15 日、入稿 11 月 2 日

第三十五回 総会および懇親会の報告

信濃の国黙唱

1. 総会

司会 理事 荻原啓治

1.1 開会のあいさつ

会長 金子 誠

こんにちは。本日、三年ぶりの総会にはご来賓 13 名、上田会会長および会員 18 名（同伴 1 名含）あわせて 32 名の方々のご出席をいただいております。

思えば、2019 年の暮れ間近 11 月に

始まった新型コロナが端緒となつて、翌年 2020 年の第 33 回総会、さらに 34 回のそれも中止せざるを得ず今日まできました。

本日の開催を決定したのは 7 月で、この時期はしらかば通信発行の 1 箇月ほど前でした。それ以来この日まで、理事らは気もそぞろの日々となっていました。一番の懸念は会員皆様が高齢になられていることです。

なにはともあれ、晴れてご来賓および会員のご出席をもつてこの日を迎えられることを、皆様とともに慶び祝す気持ちでおります。

ご来賓のみなさま、時間のゆるすかぎり会員皆様さんとご歓談いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

1.2 来賓挨拶

上田市長 土屋陽一様

本日はまことにめでたうございます。このように大挙して皆様との交流の場に参りました。

コロナ過で中断していたところ、三年振りの開催と伺っております。感染者数の抑制がままならない昨今ですので、上田でも会合や議事運営などの多くが Zoom で行われるようになりました。

申し遅れましたが、三年前になりますか 2019 年秋の台風惨禍では

ふるさと想いの皆様から義援を頂戴したことを回想し、ふたたび熱い思いがこみ上げております。ありがとうございます。

さて、今後もふるさととの発展に多くの皆様からお知恵をいただきたく、またふるさと納税にぜひともご参画いただきたくお申込みパンフレットを用意しております。

今秋も練馬区との友好都市交流でがんばっております。ちょうどこの 30 日に物産展（アンテナショップ信州上田物産館 UEDA Netma Shop）を開幕しています。場所は石神井公園駅から徒歩五分ばかりのところにあります。チラシのように上田紬、恵コシヒカリ、蕎麦、林檎などふるさとの産品を揃えております。

これを機会に、皆様にぜひこのアンテナへお立ち寄りいただきたくご案内します。

皆様のご多幸を祝し、くる年も笑顔で元気なお姿にお会いできまことを念じております。

JA 信州うえだ

組合長 眞島実様

東京真田町の会第 35 回総会の開催にあたりお祝辞を申しあげます。

お招きをいただき、ここに祝意を申しあげます。ふるさとでは、9 月から収穫期に入ったぶどうの作柄もよく、これから 11 月中旬にか

《広告欄》

かんせいえん
菅清園
菅平まんじゅう
製造、販売

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 TEL: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

けての野菜や果物の感謝祭も盛況
まちがいなしです。皆様のふるさ
と訪問を心よりお待ちしております。
す。上田の麓には農家の皆さんの
汗の結晶シナノゴールドやスウィ
ート、秋映えとなつて山肌をかざ
っています。

皆様へささやかながらふるさと
秋の香りに林檎ジュース、コシヒ
カリをもつて参りましたのでご賞
味下さい。

本日はおめでとうございました。
来年も皆様の笑顔に再会できるこ
とを楽しみにしております。



JA 信州うへだ及び自治センターから本会
会員へのお土産

1.3 書面表決の報告

副会長 深町共榮

しらかば通信29号で会員の皆
様にお願ひしておりました四議案
の書面表決を報告申し上げます。
2022年9月21日までに着信した
返信葉書での書面表決は65名で
した。

表決の結果、「65名全員が四議
案のそれぞれについて賛意」を示

されました。

ありがとうございました。

2. 講演

司会 理事一之瀬和夫

本日佐々木裕三様においでいた
だくまでの経緯および概要(注1)
を紹介した

では佐々木様よろしく願ひし
ます。

みちのく

真田ゆかりの地より

講師 佐々木裕三様

概要

お招きにあずかり、秋田県本荘
市は亀田からやってまいりました。
これまで、会誌日本ダボスへの
投稿に誘われたり、この誌をお送
りいただいたりで、皆様の会には
強い関心がありました。

念願かなってふるさと真田の
方々にお会いできてうれしく思
います。NHK真田丸の企画が話題にな
った2016年には、私たち亀田の有志
一行は朝6時半にマイクロバスで
秋田を発し、12時間後の夕に上田
へ到着してまいりました。

温暖化で私らの由利本荘市あた
りが、孟宗竹の北限になっていま
す。わたしは敷地に繁茂する竹を
生かそうといういろいろな試みに挑戦

しております。真田町の会で「講演
して下さい」との依頼があったそ
のときから、せっせと細工したも
のを用意して参りました。お気に
入りのものをお持ちください。

さて、亀田は真田幸村の五女「お
田のかた」が没したところであり、
本方は子息の養育に並みなみなら
ぬ努めをなしたことゆえ、今日で
も当地の人々の誇りであり敬愛さ
れています。古い資料ですがそれ
らには幸村の系譜が記されています。
これにみるように、大坂夏の陣
において相まみえる陣に分かれて
その時代を生きた智慧を見ることが
できて、現在も(良い意味でも、
逆のそれでも)真田家が信頼され
ているということでしょうか。亀
田藩伝承のDVDをつくり子供たちの
郷土史教材にしています。

社会派で名高い松本清張の小説
で舞台になった羽後亀田が私らの
いるところです。映画の第一ロケ



佐々木様より総会出席者へのお土産(ごく一部分)

地としてカメラの臨場になったの
で現在も訪れる人が多い地域です。
これを機に真田会の皆様方ぜひ
とも亀田おでんの方の郷へおこし
下さい(★関連記事をp.2に掲載)。
(注1)ご講演までの経緯

佐々木裕三様に講演をしていた
だくことになった端緒は2019年5
月の総会当日、ちょうど同階で東
京岩城会様も総会をされていたこ
とによります。

両会の会長と荻原理事らが名刺
交換したことでみちのく真田が話
題になりました。

これをはじめとして司会から流
れの概要紹介がありました。

—写真撮影—

3. 懇親会

司会 荻原啓治

3.1 歓迎の挨拶

副会長 深町共榮

三年ぶりに総会を開催できたこ
と誠に嬉しく、さらに市長土屋様
と12名のご来賓の方々に歓迎と
感謝を表します。

本日は遠路をお越しいただきあ
りがとうございます。

会員諸兄姉はご高齢の域ですが、
時間の許すかぎり会員と上田市真
田とのふるさと交流を密に盛りあ

げていただきました。よろしくお願いします。

3.2 来賓の紹介

司会 柴田小夜子

ご来賓の皆様を紹介します。

上田市行政の皆様(三名)

上田市長

土屋陽一様(新田)

真田地域自治センター長

田中昌彦様(本原)

真田地域自治センター

地域振興課

望月領都様(国分)

上田市市議会関係の皆様(五名)

市議会議長

佐藤論征様(真田)

市議会議員

古市順子様(竹室)

齊藤加代美様(海戸)

中村知義様(中丸子)

市議会事務局

竹村一寿様(下之郷)

JA信州うえだ関係の皆様(四名)

組合長

眞島 実様(長和町)

真田地区代表理事

北島一博様(菅平)

真田地区事業部長

中澤元秀様(中原)

真田地区女性部部长

久保町子様(横尾)

在京の他会の皆様(二名)

東京上田会会長

山崎齋明様(室賀)

岩城まち歩き案内人の会

会長 佐々木裕三様

(由利本荘市)

2.3 来賓祝辞

○ 上田市市議会議長

佐藤論征様

本日はまことにめでとうございます。お招きにあずかり初当選の中村知義さんと事務局長竹村一寿さんと共にやうてまいりました。コロナ禍のため二年間開催できなかったとのことを伺ておりまして、2019年の台風惨禍では皆様からお見舞いをいただき、ここに御礼を申し上げます。丸三年経ちますが復旧してないところも僅か残っております。菅平高原もコロナの影響を受けて、スキー客は皆無の状態でしたが、禍以前の70%ぐらいに戻りつつありますし、真田まつりもどうやら開催できました。感染対策を十分になさって健康な日々をおすごしください。

○ JA信州うえだ真田地区

理事 北島一博様

いま、高原ではモミジのつぎのカラマツ林のこがねが一面山肌を覆っています。ズーとくたつて真田

の辺りへきますと、モミジの最前線まった中に埋まります。コロナ禍で派手なことはできませんが、台風禍にあった神川洪沢も復旧してきております。まちに菅平高原の野菜を見かけたらぜひ応援してください。

皆様におかれましては今後も貴会が発展しますように願てしております。

本日はおめでとうございました。

2.4 乾杯の挨拶

真田地域センター長

田中昌彦様

みなさまのご健康と

本会の発展を、そして

ふるさとの興りを祝し

乾杯!

2.5 宴会と催し

Wi FiでYouTubeの映像をスクリーンへ映しながら、しばらく黙食しているうち、そぞろ立ち話もありこちらで始まりました。皆さん、もう我慢のくさを外し、三年ぶりの会員の再会をよろこびました。

「アトラクション」

後半にはご期待の中島舞踊教室師匠によるへみだれ髪、南部蟬しぐれが披露されてさらに盛り上がりしました。

2.6 閉会の挨拶

理事 一之瀬和夫

ご来賓および会員の皆様、盛りあがり終宴もそこに迫ております。

さきほど、ご来賓の方から「帰車の時刻もせまっています」との観察をいただきました。みなさま、みちのくびと佐々木様からの御心付けもお忘れなく、ご用意なすってください。

本日はご来賓の皆様遠路を、また秋田からおいで下さりありがとうございました。会員一同、またの再会を待てしております。

ご来賓をお見送りのあと、本日の反省会を行います。しばらく本会場にお残りください。(15:03終了メモ)

☆ 総会出席会員

(17名、敬称略・順不同)

一之瀬 和夫

大久保 あき子

萩原 啓治

小林 栄子

坂口 英一

坂口 典和

柴田 小夜子

鈴木 邦子

中島 正江

長田 ムネ子

菅平・市村

菅平・川上

菅平・川上

菅平・川上

山口 元彦 横沢
宮島 光男 横尾
川上 秀盛 菅平
川上 今朝信

― 傍陽 (4名) ―

金子 誠 田中
関 弘吉 中組
深町 共榮 田中・山岸
八木 五郎 中横道
〔原稿〕依頼 2022 年 10 月 30 日、入稿
同年 12 月 19 日

各部の活動報告

(1) 第35回総会

懇親会の反省会

企画 事務局
日時 総会懇親会の閉会后
15:10 ~ 17 時
場所 アルカディア鳳凰の間
出席者 会長ほか 15 名および
佐々木裕三様
主題 今後について意見交換

〔総会概況〕

二十一名の出席予定のうち欠席した会員は四名でした。
深町副会長から、上田会との連携を太くして本会の運営を継続することが提案されました。
佐々木裕三氏をまじえての円卓

では、深町様の農園から林檎券二つのご提供がありました。
これには理事を除く会員 14 名を対象として柴田副会長が抽選し当選した二名を讃えました。
〔原稿〕依頼 2022 年 10 月 30 日、入稿
同年 12 月 19 日

(2) みちのくびととの

ひととき

企画 事務局
日時 2022 年 10 月 30 日
17 時 ~ 19 時
場所 アルカディア二階
フオッセ
出席者 会長ほか 12 名
佐々木裕三様

遠来の佐々木様を囲み本日のご出席と講演に対して会員皆様がおぎらいの席を過しました。
今朝、佐々木氏は 3 時半に起、ごはんににぎり造り、4 時にコーヒ、5 時には秋田駅を出立されたとのこと、宿泊は浅草のホテルとのことであった。初顔合わせであったが旧知のような雰囲気であった。

この会員談義を解散したあと、同喫茶でさらに佐々木氏と一之瀬はチビチビやりながら氏の労をねぎらい、東北を、さなだを、健康を気遣う話になりました。「道中お気をつけください」と市ヶ谷駅で別

れたのは 21 時でした。
〔原稿〕依頼 2022 年 10 月 30 日、入稿
同年 12 月 19 日

第35回定期総会に

参加して

佐々木 裕三

(秋田県由利本荘市)



コロナの影響で三年間、総会が開催できなかったことは、残念と思うよりいたしかたなかった。日本ダボスに「御田の方」について書いてからというもの、東京真田町の会の皆様にお目にかかれなかったことに寂しい思いがありました。

六月頃に「しらかば通信」をいただき、定期総会の開催を確認し、心躍る思いでした。総会の席上へどのようなニュースを届けるべきか苦慮していたところ、知人から「自宅に残る文書をもとに、真田幸村に関する本を自費出版しています」との連絡があり、秋田県大

館市一心院に在る真田幸村の墓の物語にしようと思いました。大館市から青森県弘前市にかけて、大阪の陣に関わる豊臣方の武将達の伝説が幾つかあります。大阪城より生きたまま姿を消した「明石掃部全登」や石田光成の墓が秋田市帰命寺にある話、小西行長が秋田県六郷町に生存し、小西家が現在も存続している話など伝説が残っています。

一心院にのこる

真田幸村の伝説

真田幸村と長男・大助幸昌は内大臣「秀頼」様をつれて、大阪城から鹿兒島県島津家に逃れた。その後「秀頼様」は体調が悪く、他界したため、島津家に世話になる理由もなく、九州をはなれ奥州南部へ入った。そして、恐山より津軽の城下へ向かうのだが、掟ヶ関で足をとめた時、矢立峠を越え出羽秋田に入り鳳凰院の麓に家を建て閉居する。百姓をやりながら真田紐をつくり生計を立てた。一時隠遁の身でありながら、高野山蓮華定院に参拝し、九度山でも閉居する。その後、大館鳳凰山麓にもどり、信濃屋という酒屋をはじめたと伝わる。徳川家から逃亡の身である幸村親子は尾田藩に嫁いだ「御田の方」をたよろうと思ったが、二万石の城下では身を隠すには小さすぎると考え、大館に居を構えた。

幸村は、寛永十八年十二月十五日、七十六才で没し、浄土宗一心院に葬られた(墓は現存、過去帳―一ヨ浄通道円清居士)。嫡男大助幸昌は、信濃屋市兵衛を名乗り、幸村没後二十三回忌を蓮華定院で行い、元禄四年正月二十四日、八十九歳で没している。

八代目信濃屋伊三郎は、天保四年の凶作の年に、久保田藩へ金銀を寄付し、名字帯刀の免許をもらう。そして「飯田」の姓を賜ると記されている。酒屋を営んでいたのが元になる「飯」と真田の「田」をつけて名乗ったと口述される。「飯田長左エ門」となったと口伝されている。真田幸村生存説のひとつマであります。

大坂七名将の一人キリシタン

武将明石掃部全登(守重)の事
大坂の陣で活躍した豊臣方の武将で、大坂で没することなく、その消息は不明であった。しかし伊達政宗に庇護されたが、キリシタン詮議が厳しくなり津軽へ移った。

津軽信枚の保護を受け、弘前城内に匿われたが、津軽藩家老より、持っている刃をゆずるように言われ、明石全登は、伝来の刃をゆずることはできないとこわった。そのことを恨んだ家老は全登を毒殺してしまう。この状況を知った明石の子供達三人は、津軽藩を出て、比内町扇田(現在の大館市)に定住

した。扇田明石家は明石掃部全登の子孫として今も息づいている。

由利本莊市は一市七町が合併してできた自治体であります。江戸時代は三つの藩によつて運営された地域です。その三つの藩は、来年、岩城、六郷、打越(うてつ)氏入部四百年となり記念すべき時を

むかえることになりました。開催企画は、それぞれが祈念式典を行うのではなく、三つまとめて式典を、行事をやることにしています。

概要は今後に待つとして、真田関係の皆様には、ぜひとも由利本莊市へ来て、みちのく真田を知って

いただきたいと願っています。亀田藩の場合、御田の方の存在が亀田城下町の人々に与えた、文化や

伝統が少なからず生きていると思われまます。歴史を語りつぐことも、地域社会の自慢でもあり大いなる

誇りでもあります。亀田にのこる生活文化を世に知らせたいし、他の地域の人々に味わってほしいと思います。住人は減少しつつあり、

どうやって伝統を伝え、守ってゆか悩みもあります。守つてゆか悩みの答えはみつからない。

現在、私の参加している会は四つ程ありますが、すべてについて会員の減少や若手が入会しない状況がつづいています。

くより方法がない様に思われます。ひとつの会が無くなれば、必要と思う人たちが新しく会を組織するものと思います。

「自然(じねん)」という「成るがままに成る」と言うことですが、決して悪い方向性にはならないと信じます。

入部四百年記念祭も、「自然(じねん)」の気持ちで、ひとりの市民として対応してゆく予定です。

この度、第35回定期総会に参加して多くのことを学びました。

東京真田町の会の皆様改めて御礼を申し上げます。来年はぜひ由利本莊市へ来市いただきたいと願っています。

了
【後記】 前略 遅くなりました。申し訳ありません。十一月に入り何だかんだで毎日出ずっぱりの状態であります。

原稿素のまま送りますのでよろしくお願い致します。
令和四年十一月十三日 草々

【原稿】依頼 2022年10月30日、入稿 同年11月15日

三井芳郎さんのこと

顧問 山口 元彦(横浜)

当会第二代会長を務められた三

《広告欄》

山口法律事務所

弁護士 山口 元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-6
TEL 042-407-2551 FAX 042-407-2551

誠実に、確実に、そして親切に

取扱い事件

不動産に関する問題 相続問題
金銭問題 交通事故
刑事事件・少年事件 その他

井芳郎さんが、令和四年一月三十一日に永眠されました。九十二歳でした。ご家族にとって大変な悲しみでありますとともに、当会としてもかけがえのないお方を失い、誠に残念でなりません。

三井さんは、当会の創立と同時に会計理事に就任され、平成十年十月に第二代会長に選任されて、平成十四年六月まで務められました。

会長就任前は、肩書は会計理事であつても、会計だけでなく、当時の清水清晴副会長と二人で、真田町当局との連絡調整、機関誌の編集発行その他に必要な事務全般を担っておられました。三井さんが会長になられると同時に私が事務局担当になりましたが、三井さんは私に、事務局としてやるべき事柄の一つ一つを手ほどきしてくださいました。おかげで私も以後十二年間にわたり、ほぼ遺漏なく事務を処理することができました。三井さんは、会長ご就任と同時に、会長の任期につき「二期四年まで」とする慣例を提唱されました。それは、マンネリ化の防止、人材の育成等を念頭に置かれたものでした。その方針は、第二代三井さん、第三代塩沢和政さん、第四代中島正江さんにおかれては実行されましたが、第五代の私の時にはなかなか後継して下さる方が確保でき

ず、結局八年間も続けることになつてしまい、三井さんに合わせる顔がない思いをしました。

また、三井会長の時代に、会計、機関誌編集、事務局、リクレーションなどの諸会務をそれぞれ独自に分担する体制が作られ、その後の骨格ができました。

三井さんは、いつもにこにこしておられ、理事会などでの発言もとても穏やかで、私ども後進の者をふんわりと包み込んで導いてくださる感じでした。

日本ダボスの発送作業を自宅ですせていただいたこともあり、奥様にもお世話になりました。

三井さんは、平成十五年に、故郷真田町大庭の旧宅を新しく建てなおされて移住なさいましたが、その後も毎年の総会やふるさと訪問旅行などにはご参加くださいました。また、真田まつりの際に、中島正江さんや鈴木邦子さんと一緒に大庭のお宅に泊めていただき、楽しく過ごさせていただいたこともあります。

三井さん、どうぞ安らかにお休みください。でも、どうか、天上から東京真田町の会を見守っていたきたく、よろしくお願い申し上げます。

「原稿」依頼 2022 年 2 月 8 日、入稿同年 11 月 20 日

三井さんとの思い出

顧問 中島 正江(戸沢・関谷)

私が三井さんとお話をし始めたのは真田町会の役員になることになり、会報を送る作業を三井家でやることになった時からでした。

そのころは小田急線の千歳船橋にお住いでしたから、この時にたずねたのが最初でした。

その後は真田町のおまつりがある時、小夜子さん山口さんと参加して、そんな夜は真田町の三井家で宿泊させて頂き、暖かいおふとんにくるまり、お泊りさせて頂き、朝は、三井さんがパンを用意して下さり、「コーヒーか紅茶がいいですか」とお声を掛けてくださり、おいしく頂き、今でもコーヒー等々のむ時には思いだしており、とてもやさしいお父様でした。

前のお庭にも色々なお花が咲き、畑には、おいしい野菜等があり、ミニトマトも自分で取って来て食べさせていただきました。

いま、わたしが真つ先に思い出すのは、三井様が回想で語られた次のような状況のことです。

「お兄様がたが戦争に行く時、いったん家で皆と寝食を共にして・・「行つて来ます・・」と残して発つた・・」こと。そして「お仲

《広告欄》

東京真田町の会

顧問 塩沢和政

(大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37

☎ 047-450-3348



間の人たちも戦争に行き、命を落とした時の事：Ⅱを話されました。また、Ⅱ自分達は、満州の引き揚げで苦労したこと、悲しかった事など：Ⅱも話されました。今、これらを思いだすたびにジーンと涙が出てきます。

真田町会の時や真田まつりの時にも大変お世話になり、今も感謝しております。

旅行の折りにお寄りした時、お留守でしたが、お庭のミニトマトを断りなしに取って食べたこと、ロゴスキーのお姉さまは、「おこられないの」、と云っていましたが、「大丈夫よ！いっぱいになっていくもの：」と私：、採って食べたことを三井さんにお話ししたら、笑って「いくらでもたべていいよ」と本当にやさしいお顔で云って下さいました。今でも忘れません。

突然の逝去との事にとっても悲しいですが、沢山お会い出来た事感謝でいっぱいです。

今、私は、月一回お礼のつもりでお花を送り、終ればお庭に植えておけば、またお花が咲いてくるので、と三井ママにお話ししております。とてもお元気で、「中島さん」って、電話で大きな声でお話をする今日この頃です。いつか又お会い出来る事楽しみにしておりますよ。三井ママ、元気でね。寒くなってきましたのでね。

令和四年十二月五日 中島正江
「原稿」依頼 2022 年 2 月 8 日、入稿
同年 12 月 5 日

三井前顧問との思い出

鈴木邦子(横尾)

歳を重ねるごとに悲しい別れが突然訪れます。お元気でいらつしやると思っておりますだけに、三井様の訃報を知り大層驚きました。

思いおこせば三井様とは「東京真田町の会」で初めてお会いしました。平成十年第十一回総会の際でしたが会長でおられた小林様が退任のご挨拶をされました。

後任として全員の賛同を得られ三井様が会長として選任され新たに発足致しました。私も同じ年でしたが初めて理事として承認頂きました。三井会長はいつも優しくご指導くださり多くを学ばせて頂きました。その後六年間で会長の下で何とか努めることが出来ました。が突然会長を退任されるとの事に成りました。永年の会社経営等の重責からも解放され、故郷へＵターンされるとの事で一抹の寂しさはありましたが、「東京真田町の会」には顧問として携わってくださる事ですので、三井様

が傍陽の新居で悠々自適の生活をお楽しみに成られることでしたので、感謝しながら寧ろお祝いする気持ちでお別れすることに成りました。

三井様が転居されてからの料理の皆さんと、真田町へ行く機会がありました。その帰りですが何人かで、突然でしたが、お邪魔させていただき奥様にも歓迎して頂き大層お世話になりました。その時ですが美味しい甘く漬けた梅干しをご馳走に成りまして、つけ方を教えて頂き、奥様がレシピをコピーして下さる所をニコニコして見ておられた姿を微笑ましくおもひみていた事をおもいだします。

三井様は書道家としてもご活躍されており、至るところでの書家



三井様の書の脇で孫と記念撮影
(新宿三井ビル)

展に出品され、時々招待して頂き良いお手本となり勉強させて頂きました。またある時は、なかなか馴染みのない憲政記念会館での「井出一太郎先生の七回忌」の記念講演会等にも誘って頂いたことなどもあって、さまざまな経験をさせて頂きお世話になった事も沢山ございました。

思い出すとまだまだありますが、特に印象深く残っていることは、いつも優しい笑顔と時には下戸でもおられた三井様が豪快に大きな口を開けてのけ反って笑われておられた姿をおもいだします。三井



Avancé Techne Accent Corp.

(株)エーティーエーは、航空宇宙業界をはじめ医療機器などのあらゆる産業界発展に貢献しております。
事業内容 自動(組立・検査)機器、電子機器、計測器、ソフトウェアの開発及び受託生産

代表取締役社長 山岸 栄 (傍陽出身)

〒350-1203 埼玉県日高市大字旭ヶ丘字竹の台630-2

電話 042-984-3666 FAX042-984-3655

<https://www.at-accent.co.jp>



旅に出ることとし、某旅行会社の

なりました。そこでコロナ禍を承知のうえで

杉崎 壽三男(菅平出身)
昔から人の寿命は50年から80年、そして今日では人生100歳論が湧く時代となりました。職場や役職でも停年制度も60〜75歳となり、制度そのものの存在も危うくなっております。

旅に向って

「原稿」依頼 2022年2月8日、入稿同年6月29日

様には本当に沢山お世話になりました。感謝することしかございません。有難うございました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



黒部峡谷トロッコ電車の旅、立山室堂の残雪にて、令和4年6月11日



全日本マスターズスキー選手権 秋田たざわ湖大会、令和3年4月3日

企画で「黒部峡谷トロッコ電車・立山黒部アルペンルート・上高地」6月10日〜12日の3日間を団体旅行に加わり夫婦で参加しました。この目的地を選んだ理由は、自然の季節変化の残雪を観ておきたい気持ちからです。雪国生まれの私にとって初冬の初雪を迎えた時と春の残雪の姿は趣が全く異なりま

す。初雪は挑戦への念を抱き、残雪は人生の達成感を受けとり今日に生きております。その訳は幼少よりスキーに親しみ、スキー場から離れた都会生活でも人生のほどんを「スキーと共にある人生」を続けて来たからこそと感じております。今回の旅は自然の偉大さを肌で感じ満足した時間を過ごすことができました。

この原点は「スキー競技」が要因となっております。

現役時代の仲間も老齢化により欠ける今、スキー談義が出来る場が少なくなってきました。だが私には「マスターズスキー大会」に出場する機会があり、勝ち負けは二の次として仲間どうしの対話が楽しみのひとつです。話題は決まって身体の不調説からはじまり時折若かりし頃の自慢の人生模様を聞くこともあります。今はもっぱら車の運転やら老後の事が気になりコソのひとつに「話し上手は聞き上手」と言われております。日本列島各地から集う顔ぶれと共に過酷なレースと楽しい話し合いの場を求めてスキーを愛し「生涯現役」を目指したいと考えております。

スキー業界の不況は新型コロナ禍等の影響で未だ先が読めません。以前のように都会のスキーヤーで賑わう光景の再来を夢見て今シーズンも挑戦にのぞみたい。

令和四年十一月

山 追 憶

八木五郎(中横道)

山との付き合いというか、拘りは昭和二十年代の幼少に遡るだろうか。自家は農業養蚕、家畜のほか、父親は山地主の山管理を任かされていた。苗植え、下草刈り、枝

元(公財)全日本スキー連盟 常務理事
元(一財)東京都スキー連盟 会長
練馬区スキー協会 名誉会長
(株)三愛設計 代表取締役
「原稿」依頼 2022年10月24日、入稿同年11月12日

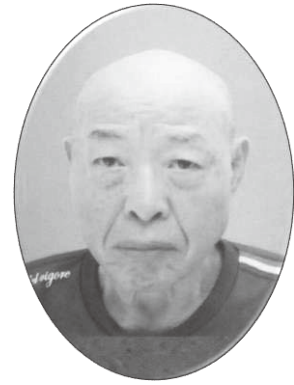
一級建築士事務所

株式会社 三愛設計

●東京事務所
〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 6-7-14
TEL 03-3993-9001 FAX 03-3993-9009
E-mail san-ai@zar.att.ne.jp

●長野出張所
〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1265-7
代表取締役 杉崎壽三男(菅平出身)

払い、伐採、炭焼き、農業も山仕事も年中切れ間がなかった。



当時山専従者が多くいた。親父の後を追って山へ沢へ入り、三つ違いの兄(亡)と薪、炭俵を背負子で急勾配の道をくり返し折返した。荷車のある場所まで背負い、暗くなつて足下危なくなるまで続けた。お金は一銭とももらわずも「山桜の木はよく滑る」と、桜木で二人のスキー造ってくれて嬉しかった。当時の私のスキーを甥も滑ったと聞いている。近くの山へ焚き付けに枯松枝拾い、茸採り、雪山では針金罌で山兎狩り。遊びの延長みたいに天神山、烏帽子岳、菅平へキャンプも行ったなあ。

十五歳の春先上田駅から夜行列車で一路名古屋へ、試験に受かった。養成校の学生時代のゴールデンウィークの休暇には先輩に誘われて、五、六人用の布テント背負わされて、四日市からあの頃ロープウェイの高さ世界一と云われた五在居所岳の麓で水溝堀り、四隅から

ロープ張って、テント張り(今は軽くてコンパクト、数分でできる)。天気予報の雨に備えてか他にはおらず我らのテント一張りのみ。

五人重なりあつて寝るも朝になるとテントに叩きつける雨。三日も降り続いて帰りの旅費までも買い食いし食料も尽くし。近くの湯の山温泉の〇△旅館で雨で荒れた膨大な庭、風呂の掃除、布団上げ等々バイト。帰りの旅費出していただいた女将には感謝。水のタツブリ含んだテントの重さだけが印象に残ってる。

夏山の恵那山、伊吹山も登った。冬は大須に室内あつたけどフィギュア、ホッケーに占領されており、当時はハーフスピードスケートにはまっていたので、香嵐溪、関ヶ原(四百メートルの野外リンクのある)へ通った。関ヶ原に向う名神高速で大きな猪にブチ当たった。香嵐溪ではアイスバンの道路ブレーキ、車何回転もして、ガードレールで止まり、命拾い、車免許取りたてばかりの苦い思い出だ。

三年間の学校は卒業させてもらい、バイトの飲食業(ステーキハウス)にはまり退職願い出すと、「これからだ!と云うのに何で辞めなきゃあならんのだ」との総務部長の顔が今でも浮ぶ。14年間の名古屋から現在の千葉へ、JR新宿ビル工事事務所社員食堂勤務、土日祭

日夏休みもあつて、サンケイ・阪急山ツアー参加し、秩父阪東三十三観音巡りも完歩、月一度の山、富士山への四回は天気に恵まれて全回登頂できた。外国人も多く、生活習慣、食生活の違い、皮下脂肪のちがいの温度差、山頂でも半袖、短パンで平気に陽気に歌ってる姿には脱帽した。

富士登山の二度目だったか、女性登山家(河口湖出身)高齢でのエレベーター登頂の記録保持者、渡辺玉枝氏と一緒に登った。「空気・酸素の薄くなる三千メートル級の登山は、山側々々をゆっくりゆっくり大きく深呼吸しながら登ること!」とお教えたいただいた。

山頂のお鉢廻りをして、剣が峰を積雲に朝日を浴びての影富士をバックに写した当時の写真を観ると血気盛んだった事を懐かしく思う。

同僚と常磐道那河インターより奥久慈河端でのアウトドアバンガローのときも川遊び、泳いだり、水郡線の手窓乗客から裸の我らに手を振ってくれた。

手頃に登れる山やあまり知られていない温泉、フルーツも豊富だった。当時、稲毛4時32分の二番電車、帰途8時、9時、常連の焼鳥屋で客の一人に(山に登り隊入隊から二十数年になる)。

《広告欄》

株式会社 千曲美装

一般社団法人 優良リフォーム支援協会会員

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104

Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813

e-mail t_miyashita@chikumabiso.co.jp



悩む前に
相談して
良かったわ!!

アパート、マンションから
一般住宅までリフォーム・
メンテナンスの全てをお引き
受けいたします。
お気軽にお声かけ願います。

名の知られた百名山とまで行かずも、高低問わず、百山以上はるかに登りたり、ハイク、トレッキングしただろうか？山岳それぞれ個性あり、山頂はゴロゴロの岩だらけやら(★関連記事をp.2に掲載)。

山頂湿地帯、昔火山後の池、多種多様、四季によって違う姿に二度三度同じ岳へ登った。

上高地からの登った岳帰りには必ず奥飛騨温泉郷の中尾温泉の常宿「望焼館」亡き旦那(建設)が手造りの大きな岩に囲まれた「露天風呂」登った仲間と缶ビール片手に打ち上げ。夕食の岩魚の骨酒、飛騨牛のシヤブ、ほう葉焼き、山菜に舌鼓む。朝食のほう葉みそ焼きも朝食すすむ。この穂高の帰り七月末に寄ったとき健在だったので嬉しかった。次回は何時になるか夢を描く。

私も来年は大台に入る。ヘリコプターの保険も入っているけどこの処低山ハイクはまってる。鎌倉の源氏山、奈良京都の鞍馬山、大文字、比叡山、低山とてなめたいかんぜよう。急登短離あつてまずまずこたえます。この10月22日京都三大祭りのひとつ、京都の時代祭りに偶然遭遇して観覧できた。時代仮装しての何千人の行進、見物人は外国人も含めて何万人だったろうか？スケールの大きな祭りに感動した。

今の勤めは十八年目になる。往復歩いて、トレーニング欠かさず、来月は何処の史跡めぐりとか。歩けることは幸せ。まだ登り隊の一員を続けます。

千葉は暖かく紅葉は今一ツですが、時々刻々と待ったなしに刻まれて、暦も後一枚になりました。

先日、何年ぶりかで帰省、深町氏ほか同輩らと江戸屋で懇親出来て嬉しかった。

人口密度の低い上田のコロナ感染のスゴイ事、姉(施設)に逢えず、妹には孫小学校で感染、玄関口で数分話してサヨナラ。墓参り出来て「千古の湯」に入った。

後追いで送った原稿を整理していただきありがとうございます。

【原稿】依頼 2022年10月24日、入稿同年10月30日

第三十八回真田まつりへ

― 唄いあるく太郎山さなだ―

理事 一之瀬和夫(大日向)

2019のそれから三年ぶりの開催に・、とまつり実行委員会の木島委員長から会長に招待状がありました。実施は8月6日(土)の16時、三名の出席(会長金子、副会長深町、理事一之瀬)で回答しました。その日、真田まで一之瀬の足どり

はつぎのようです。

東京発6:52あさま601は、熊谷あたりから薄霧をはらい軽井沢では霧雨を散らしてぬけました。佐久には日差しあり、上田着8:28では青に浮雲で足どりも軽くなりまりました。改札内の売店で非常食におやきを三つ(茹、野沢菜、確保し、いつものように立そば啜りにいそぎました。が、先に見えた白紙にチョット不安が、ア！「閉店御礼」でした。コロナ禍で通う人は減り、おとずれる人々も少なくなったのでしよう。

8:55出迎え下さった深町様に「しらかば29の135部」を預けたので少し楽になりました。「ちよっと果園へ寄りましょう・・・」に乗せられて10分ほど先の古屋敷へ・・・、生りさがるプールのひと掴みを頂いたことで質量は復しました(背袋は6kg)。

そのあと、太郎山の表参道登山口まで届けてくださったので真田への道ゆきに1hも余裕ができました。

登山口から太郎山の頂までは570m、その往復距離は4.1kmです(登山口の四丁石から社の朱大鳥居二十二丁石まで。一丁石間は概100m)。ここを登9:25、持ち水なしでぬめる道を唄365夜などで発声訓練しつつ、神社に参拝お賽銭で奉り、そのさきの山頂で5分ばか

《広告欄》

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。心を込めた手作り料理も宿の自慢です。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422



り上田盆地を眺めて休憩、登口からここまで凡そ1.3hの径でした。下りは1hで入口着11:43、往復に2.3hの道のりでした。
前日は雨でしたので、今朝の木漏れ日道中で二日分の16名に出合いました。「クマ様待っているというからさ、これ持つてくるで…」と御姐さんが振ってくれたのはガラガラでした。



太郎山頂上で、20220806

涼しいところへ早くいきたくて登山口を11:55に発ち、大星神社の脇をぬけて新田に12:25―蛇沢(R144は高校通いに三輪トラックで薪炭、土建砂礫、家畜堆肥運搬などで行き来したホコリ道だった)―伊勢山―北本原駅跡までテクテク。川風うけて自治センター駐車場の係り方にあいさつし、2.6hで真田温泉へ着いたのは14:35。こんなことで、登り始めからまつり場までの概5hを県道中にして汗を飛ばしたものの、足を出せば進む

平道で体力増進はできません。休憩所で若者のうかれ屯すさまじい片手にながめてる間に、クツシタも乾いたので(湿度40%と低)、16時ごろに会場へ入りました。もう会長と副会長さんは来賓方と座っておいでで、空席も目につきました(★²に「関連記事」)。
16時、日は陰ったとはいえ大地の暑さは退けず。主催者の開会宣言で「これからもう一つと祭りの中心は若い人たちです。地域の小学生から青年みなさんの祭りで企画されています」とあつい挨拶がありました。三年ぶりの土屋市長挨拶や佐藤議長長の祝辞に続いて来賓方の紹介がありました。鉄砲隊の煙幕に巻かれむせび、続くごうおんにギャレリの頬つぺたふるえ宴の火ぶた切られて興奮の拍手。数年前までにあつた盆踊りはなく、小学生の踊りにはじまり中学生の吹奏演、山家神社のおごそかな豊栄の舞など、後半は若者のダイナミズムの彩どりに拍手喝采、中締めは太鼓。数年前まであつた〇〇音頭などの伝承舞台はでませんでした。20時からの30分間に山麓を照らしたのは花火の概千発と推三千人(主催者)の歓びでした。このなかで本会からの祝意弾束は五発目?でした。茶・菓皿で歓迎していただいた来賓席を20時すぎに発ち、大日向へ向かいました。

いま、真田へ行ったことで暫く途切れていたウクライナ状況(危機ザポリージャ原発)をYouTubeから仕入れています。

「原稿」依頼 2022年8月14日、入稿同年11月19日

会員皆様の近況(注)

(敬称略・旧姓・出身区)

1 飯嶋まさい(穴沢)

しらかば通信たのしみに拝読しております。東京に出て70年、卒寿を迎えました。遠距離通学で鍛えた足の筋肉が幸をなしたのか、毎日ウォーキングを八千歩頑張っています。コロナ禍が落ち着きましたら故郷訪問が夢です。

2 石巻哲夫(曲尾)

しらかば通信は楽しみにしております。これからもよろしく願います。

3 一之瀬和夫(大日向)

C20 20の1月、あのコロナ来襲に驚愕し身の処仕方わからずにてんてこ舞い。あれから2年半、ようやく落ち着いています。「籠っておれない」気持ちいっぱい、出歩いています。2020の春先、山ハイクで出あったバカバカしいほどのマスク人も2年たった今は絶えてなし。

《広告欄》



代行 ゆきむら

長野県公安委員会認定第273号：代行保険完備

代表 飯島 嘉夫

TEL 090-1504-1196

〒386-2202 上田市真田町本原 2749

営業時間 20:00 ~ 3:00



リンゴの 大松農園

小玉のサンふじ・シナノスイートは、
2月末まで発送いたします。

連絡先

〒386-2203 上田市真田町傍陽 3774-7

堀内 昭一

Tel.090-4017-3721 Fax.0268-75-3355

「コロナパンデミックは終焉です
1、とテドロス・アダノム WHO 事務局長が唱えています。2022 の 7、8 月は雨にたたられ陣馬―高尾の 8h ハイックは二回に留まりました。6 kg を負い七五調を唱え根絡みを上り下り、記憶力、肺気量^{4.2}を目指し、汗を流しています。帰途、高尾裏の 208 段 3 分以内で登りきるのが現在の耐力維持目安です。平地の市民農園で大根種を採集し、八月下旬の種蒔にはみどり、しな、むらさき・、など八種目を土へ入れています。

4 岩崎みち子(正木・菅平)

我が家では長い夏休みが終ると思っていましたら息子家族がコロナになり夏休みが 10 日間のびてしまいました。本当にコロナがこんなに大変かと、家族がなって知った事が多いです。本当に氣をつけていきたいと思ひます。

真田の会も今後の方向がみあたりませんね。

世の中が幸せになつて欲しいと思う日々です。幹事の皆さんのご苦勞が大変だと思ひています。ありがとうございます。

5 上ノ山勝信(堀内・三島平)

幹事さんご苦勞様です。今年は懇親会が実施出来れば良いですね。コロナの終息を願つて。

6 大代今朝幸(菅平)

長い間お世話になりました。今

回で退会させて頂きたいと思ひます。ありがとうございます。

7 荻原啓治(四日市)

健康第一、好きな音楽を恋人として毎日を過ごして居ります。

8 加賀見昌子(山本・横沢)

ご苦勞までございます。

9 金子 誠(傍陽田中)

コロナ禍がかなり落ち着いて来たとは言え、大人数での会食は感染リスクが高いようですので氣付けて会食しております。

10 川上年美(宮崎・菅平)

今年もコロナで皆様にお会いできそうもありませんね。元氣で又お会いするのを楽しみにしております。

皆様の健康を祈っております。

よろしく願ひします。

11 神田幸雄(横尾)

人工授粉できず、来年こそ成功させると誓つた。80 は遠い先のことと思つていたが目前とは：終息がみえない不安な日々ですが、先

ずは感染しないよう注意し、会員の皆様に会える日を楽しみにしています。コロナ禍の中役員の皆様ご苦勞様です。元氣に過ごしています。自粛生活の中、妻が蒔いた

「南瓜の花」(かぼちや)が太陽の日を浴びて金色に美しく映えていた。

「昨年、南瓜の花は咲いたが実が生らなかつたどうして？」と相

談あり、南瓜は雌雄異花、雄花と雌花の違い、この辺りに蜂などいいので人工授粉したほうがよいと説明。庭先の花を観察、殆ど雄花(つる花)であつたが別のつるの葉陰に一つだけ雌花を発見、数日で開花と予測、雄花を冷凍保存し開花チャンスを待った。数日たつたが開花せずしおれてしまつた。

12 小林重利(入軽井沢)

コロナ感染のなか、真田町の会長大変ご苦勞様です。

私は、昨年の腰椎骨折の後、ヘルニアなど悩まされながら、日々を送っております。

13 小林孝雄(曲尾)

イギリスエリザベス女王の葬儀を拝見し、イギリスの偉大さに敬服です。私は女王より一才上の才97才となりました。

真田町の会の永続を祈念しています。

14 坂口英一(真田)

毎日、元氣に働いております。

15 坂口典和(真田)

終戦末期に生を受けそれから 77 余年。科学や技術の進歩で結核や貧困を克服し今は AI の領域に達したと言うのに、今さらコロナ蔓延に自然災害。そして戦争まで。不便な生活を余儀なくされていきます。そんなおり、大阪に住む長男に子供が生まれたと嬉しい知らせ。披露にとこちらに來たので、私も

《広告欄》

現代舞踊内海流 舞踊教室

東京真田町の会顧問

中島正江
(内海鉄政望)

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 3-22-18-103
☎ 03-6411-0703

株式会社 アップルサイエンス

代表取締役 川崎 豊



- プロジェクションマッピング
- ビデオ映像(会社案内など)
- ホームページ制作・メンテナンス
- CG 制作

是非ご相談ください

〒381-0025 埼玉県行田市埼玉 5340-2
TEL 048-559-5300 <http://www.applescience.com>
Mail kawasaki@applescience.com

皆を連れ実家(真田)に3年ぶりの帰省。泊りは藤村ゆかりの宿。

地元の料理に舌を鼓ち、またおもてなしに感激し満足の一夜。

日々の生活は建築会社グループのマンション管理会社の社員としてあちこちのマンションを駆け回っております。ホテルの様な所もあれば孤独死が起る古い所まで。目標は100歳以上。

16 椎名巳津男(山口・横浜)

大変ご無沙汰です。役員の皆様方のご苦勞に対し厚く御礼申し上げます。

私こと体調を損ねており残念ながら今回の総会には参加できません。会員の皆様方にはくれぐれも宜しく申し上げて下さい。

17 塩沢和政(大日向)

役員の皆様、ご苦勞様です。当方、元氣であります。総会には出席できませんが、皆様によりしくお伝え下さい。

18 柴田小夜子(市村・菅平)

先の見えないコロナの感染、長男の方でも毎日増えている様子、大変心配しております。又氣候も不順で未だにない違和感があります。

10月の総会には元氣で皆様にお会いしたいです。

19 杉崎壽三男(菅平)

一日も早くコロナより離れ、平和な日常生活に戻りたいものです。

20 杉村房枝(落合・萩)

お世話様でございます。日本ダボス誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

さて、コロナの感染が心配でございます。皆様どうかくれぐれもご健康にお過ごし下さいませよう。にお祈り申し上げます。

21 鈴木邦子(横浜)

1号議案につきましてはコロナ禍の中でもある為理事会もZoomにて行われている様子。全員の意見交換も出ているかどうか？

10月には久々の総会も開催されるとの事、理事の方々のご苦勞が良く理解できます。実際問題としてこのまま会はどこ迄存続可能かどうか？と氣になっております。諸先輩方々のご意見を是非お聞きしたいと思っております。

久々の総会がつつがなく成功される事を心から願っております。

22 関 弘吉(中組)

役員の皆様、種々制約のある中、総会開催ご苦勞様です。多くの方々にお会い出来る日を楽しみにしています。

ふるさと訪問(旅行)が早く再開できることを願っています。

23 武田守央(真田)

四月に怪我をし五月に入院しましたがいまでも怪我のあと痛みます。申し訳ございませんが出席できません。盛会をお祈りします。

24 館野清實(堀内・田中)

行きたいのは山々ですが、まだコロナが心配で出席できません。皆様によりしく。

25 角田和美(清水・菅平・ツノダ)

住所一部変更しました(番地のしも数字42→22です。いつもお世話になっております。

よろしく願います。返信遅くなつてすいません。

26 長田ムネ子(矢島・真田)

久々の総会開催に当り役員及び幹事方々お世話様です。皆様にお会い出来る事を楽しみにいわきやりがんばつて参加させて頂きます。東京都内へ行くのも久々なので体調調整えて元氣にお会いしましょう。

27 野間亮子(北沢・横浜)

世の中はまだまだコロナがおさまりませんが、秋めいてきたこの季節、梨狩りやりんご狩りなどにはついつい出かけてしまします。今回は欠席ですが相変らず元氣に過ごしております。

28 半田 喜章(中横道)

役員の皆様には長い間に亘り楽しい語らいの場を作つて頂き感謝致します。コロナの長期化で外出も儘ならず足腰の衰えと加齢もあり遠方へ出掛ける事が厳しくなりましたので残念ながら退会致したくお願い致します。

東京真田町の会の永続と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

29 深町共榮(山岸・田中)

会員の皆様にはコロナをさげご清祥のことと存じます。神田様から事務を引き継ぎましたが、不慣れな事が多く皆様に十分サービスが行き届いていないのではないかと危惧しております。ここ真田郷にて過ごしており、関東へ出向く機会がめつきり減りました。

この夏、晴天が続いたものの、その後、雨天も多く、十本足らずのリンゴ畑の草が元氣よく茂り、草刈りに手をやいています。これから台風が来ないことを願いつつ、サンフジ收穫に向けて畑に出掛けています。総会でお会いしましょう。

JA 信州うえだ 女性部真田支会

〒386-2201

長野県上田市真田町長 3893-1

TEL0268-72-2300

FAX0268-72-4032

30 堀内敏文(下横道)

ご連絡ありがとうございます。
元気に過ごしています。会員数の減少下での会の運営に努力している幹事に感謝しています。

31 堀内寿美(上横道)

いつもご連絡ありがとうございます。
10月30日は予定がありすみません。皆様に宜しくお伝え下さい。

32 堀内博典(三島平)

重要な事項、期限が過ぎた返信で大変申し訳なくお詫び申し上げます。一之瀬理事様からわざわざの電話をいただき気づいた次第です。

会報、しらかば通信はふるさと情報を得る手段としてとてもあります。準高齢者を卒業する年になりましたが、サラリーマン生活をしており、土日は休息日にしたいと思っております。
今後もしよろしくお願い申し上げます。

33 堀内 福(下横道)

元気です!!

34 堀内 幸(下横道)

会長はじめ理事役員の皆様のご苦勞推察いたし感謝致します。
わたくしの入会は50歳代で当時の総会は100名ほど参加があった記憶です。

1. コロナ禍での近況

昨年11月に帰省したことが最遠方旅行です。普段は家の近所を午前午後1回づつ20分程度ウロウロ：散歩(目標5千歩)

2. カラオケ

週1回毎日曜日午前11時から午後4時半まで近所のカラオケ店一室を借り同好会に参加。

3. 水彩画の展示

近所の高齢者介護施設に週一回、替えながら10年になりました。

35 宮下毅士(真田)

今回で退会とさせて頂いていただきます。総会には一回も参加できませんでした。会報「日本ダボス」を送っていただき、真田町のことなど想い出していました。

実家は山家神社の近くにあり、高校生活まで過したところで生活のすべてが思い出深いものでした。田畑や山の仕事手伝いながら「くすり屋」もやっていて楽しい毎日でした。

今は実家や田畑も譲渡し、残っているのは山とお墓だけです。
長い間お世話になりました。総会の成功をお祈り致します。

36 八木五郎(中横道)

猛暑のお見舞いを申し上げます。
現施設勤め、19年目になります。昨年左膝に金属が入って、お座りできないも生活に支障なし。自転車で房州路走り、先日は山仲間

(20年来) 八名(夫婦二組)千葉始発のあずさで松本上高地西穂高岳奥飛騨温泉を巡って来た。急勾配直登出来た事、嬉しかった、又ゆくぞ! 毎日リハビリ、トレニングを続けます。全く話し変わります

が同輩の牧内泰男君より、しらかば通信が届いた夜、私へTEL入って、三年前より脳梗塞やつて発見遅れて、全く歩けず。ベッド生活とのこととなった。三年前に「退(脱)届けたのに、まだ脱退になって居ないので、私から連絡してくれ」と頼まれた。一人二人と離れて行く事は寂しい限りです。お手配宜しく!

37 柳沢郁政(戸沢)

ソフトテニスと平日のゴルフ場は元気な人達で楽しんでいきます。

38 山口元彦(横沢)

今年はなんとか総会・懇親会が開けそうで嬉しいのです。
なつかしい皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

39 山崎静次(横尾)

残暑御見舞い申し上げます。役員方の活躍を御祈りし祈念しています。

年をとって田舎へも帰れなくなりましたが数年に一度ぐらいは帰ろうかなと考えております。

40 吉川栄子(中組・武捨)

近況 昨年11月に自宅で転倒し大腿骨折しました。手術で

人工関節を入れたのですが、三回脱臼を繰り返しました。三月に退院をして、車椅子生活ですが、老人ホームにいます。歩くりハビリをしています。出席しなかったのですが残念です。
宜しくお願い致します。

(長女の代筆によります)

令和4年度の議案書面表決のお願いで皆様からいただいた返信は65通でした(締切9月21日)。

このうち近況欄に記述があったのは41名でしたが、編集部で精査し40名の方の文を掲載しました。
[原稿]入稿 2022年12月18日



～会 員 消 息～

(令和3年11月～令和4年10月)

＜ 住 所 変 更 (敬称略) ＞

○角田和美

〒183-0042 東京都府中市武蔵台 1-18-22

＜ 退 会 (敬称略) ＞ 長年にわたり本会の運営

にご協力いただきありがとうございました。
荒木廣之(逝)、大代今朝幸、海瀬浩弘司(逝)、桑田博章、杉村房枝、牧内泰男、宮下毅士、成澤今朝信、花岡孝雄、半田喜章

令和3年度 会 務 報 告 書

令和3年

5月16日 ・5月16日開催予定の第34回総会・懇親会は、コロナ禍のために中止し、10月3日に延期とする。

6月25日 Zoomによる理事会(第1回)
・令和2年度の会務報告、令和3年度の事業計画及び予算の審議
・10月3日(日)に予定した第34回総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染が収まる見通しが得られないため中止とする。その結果、総会に諮るべき議案は、しらかば通信臨時号(No.27)を発行し、書面表決とする。

7月16日 Zoomによる理事会(第2回)
・しらかば通信 No.27 の編集について審議

8月10日 しらかば通信 No. 27 (臨時号) の発行

9月10日 ・ハガキによる表決
令和2年度の会務報告(第1号議案)及び決算報告(第2号議案)、令和3年度事業計画(第3号議案)及び予算(第4号議案)の計4号議案について、回答71通すべてにおいて賛成を得る。

10月 3日 Zoomによる理事会(第3回)
・表決結果の報告、日本ダボス34号の編集、役員体制を審議する。

11月 7日 Zoomによる理事会(第4回)
・日本ダボス34号の編集、次回総会(令和4年5月15日)、ふるさと会の統合について審議する。

12月21日 日本ダボス34号を発行。

令和4年

2月 6日 Zoomによる理事会(第5回)
・令和4年度の事業計画の検討。令和4年5月15日(日)に総会・懇親会開催を予定したが、オミクロン株の感染状況から、10月30日(日)に延期することとした。

・しらかば通信 No.28 について審議し3月31日に発行するとした。

3月20日 Zoomによる理事会(第6回)
・しらかば通信 No.28 の発行及び令和4年度の活動方針の検討。

3月31日 しらかば通信 No. 28 を発行。

令和3年度 決 算 報 告
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部		支出の部	
上田市補助金	300,000	上田市補助金返却	107,142
年会費	163,500	総会懇親会費	0
総会懇親会費	0	会報発行費	385,716
広告	130,000	事業費	43,526
寄付金	500	事業通信費	4,248
利息	2	事務用品費	3,020
		会議費	0
		渉外費	10,000
		交通費	0
		雑費	5,043
当期収入	594,002	小計	558,695
前期繰越	221,365	繰越金	256,672
合計	815,367	合計	815,367

収支決算を左記に報告します。

会計 坂口典和 ㊞

左記の決算報告書は適正かつ真実であることを認めます。

監事 荻原 啓治 ㊞

監事 深町 共榮 ㊞

(令和4年6月15日)

★ 令和4年度の役員は3年度と同じです。

重複をいわずp.2へ掲載しました。

★ 会員消息をp.24に掲載しました。

令和4年度 事業計画

令和4年度 収支予算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

① 第35回総会及び懇親会の開催

令和4年10月30日(日)

② 会報「日本ダボス」第35号の発行

③ 広報誌しらかば通信第28号および29号の発行

④ 総会が半年延期されたことを考慮し、令和3年度会務報告・決算報告及び令和4年度事業計画・収支予算について書面表決を行う。

⑤ ホームページの運営

⑥ 会員相互の親睦をはかるため、関東圏の四季めぐりなど見学会を開催

⑦ 上田市との交流促進のため、真田まつりなど上田市の各種行事に参加及び特産物宅配協力

⑧ その他

収入の部		支出の部	
上田市補助金	300,000	総会懇親会費	400,000
年会費	160,000	会報発行費	400,000
総会懇親会費	350,000	事業費	90,000
広告	130,000	事業通信費	45,000
寄付金	10,000	印刷費	25,000
利息等雑収入	0	会議費	40,000
前期繰越金	256,672	渉外費	60,000
		交通費	50,000
		雑費	40,000
		予備費	56,672
合計	1,206,672	合計	1,206,672

次回総会の予告

2023(平成5)年度の第三十六回総会及び懇親会を次のように開催する予定です。

開催日 5月21日(日) 11:30～

会場 私学会館アルカディア市ヶ谷(六階霧島)

第七波のピークを過ぎた後、現時点で感染者数の漸増傾向から、第八波ピークが三月あたりと推察されます。寒中、心身ともに鍛えてのりきりましょう。

会費払込みのご案内

年会費は本会専用の「払込取扱票」で郵便局にて払込み下さい。払込取扱票は、しらかば通信30号に同封されます。同票による振込手数料は本会負担です。ただし、現金による払込みの場合は、別途110円の手数料がかかるようになります。

当会の年会費は一千五百円です。従って、未納の過年度分も同票で払込みされるときには、「該当する年度と金額」を、必ずご記入下さるようお願いいたします。令和4年度会費未納の方には、払込取扱票が同封されていますので払込みをお願いします。

広告御礼

本誌no.35の発行にあたり広告掲載をお願い致しましたところ、コロナ災下にあっても皆様から熱いご協力を頂くことができました。ここに厚く御礼を申し上げます。

編集後記

総会の延期と中止を二巡して、ようやく待望の第35回総会懇親会を10月30日に迎えました。このとき、会員皆様の懸念や理事会の心配も、ふるさとの来賓を迎えた慶びでふきとびました。「また、つぎの楽しみまで健康で」と、満面の微笑をのこして。

さてそのあとのこと、「ダボスがこないんですけど……私の住所消えたのかしら……」と、新年早々に会員方から「心配の一声をいただきました」。

そこで、裏事情の凡そを皆様に報告してお許しをいただきたく存じます。

総会を五月に開催していた頃はダボスへの報告文作成に五箇月の余裕がありました。が、今回は総会から年末まで二ヶ月しかなく、しかも昨今は理事人数は少なく、録音機器操作にも手は回りませんでした。そのため、開いた箸袋片への自メモへ話者の語を羅列し、これをまとめるのに三週間ほどを費やし……。依頼していた原稿がすべて揃ったのは十二月上旬のこと。さらに編集者宅へコロナの滲入があり、孫四人たちにも動線規制をかけること十日間、該誌進捗のほどをご推察頂きたく願います。

ところで、みなさまの昨今はいかがでしょう。ずいっと続くマスク生活で、寒乾季のインフル罹患の心配は少なくなりましたが、コロナとインフルの症状識別がつかなくなつたことで、別の心配ごとができています。

ー 2023年はウクライナを勝利へ

導きますようにー

(一之瀬和夫記)

連絡先 金子 誠 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156、Tel・Fax 048-591-4728



第 35 回総会および懇親会の模様 (16 頁に報告書)



はじめ
音楽スタジオ 肇

お問い合わせ (荻原)

090-8442-2317

keiji-1214-ogi@docomo.ne.jp

<http://ameblo.jp/music-studio-hajime>



中野区中野 2-12-12 勸業ビル B1F

JR中野南口より徒歩3分

祝 東京真田町の会

－ 会報 35 号 －



反省会の中身は何でしたっけ・・・、「来年もやらなければ」ということだったような…かしらね。



くらしによろこび創りませんか
信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 眞島 実

〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

日本ダボス 令和4(2022)年12月25日発行

発行者 東京真田町の会 会長 金子 誠

発行者住所 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156, Tel & Fax 048-591-4728

編集 一之瀬和夫(編集長)、深町共榮

印刷 上田市住吉：精巧堂(株)アオヤギ印刷